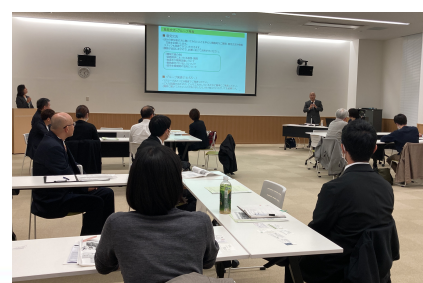


令和7年度事業のご報告

同業種交流会
(介護・医療・福祉)

障がい者雇用における課題や悩みを共有 / 意見交換することで、
安心して障がい者雇用へ一歩踏み出す一助となること、また、
企業間のネットワーク構築に寄与することを目的に開催いたしました。



日 程	話題提供者（講師）	話題提供内容
10.10(金)	福岡市教育委員会 福岡市発達教育センター 所長 松本 学 氏	「特別支援学校での就労に向けた取り組みについて」
11.14(金)	福岡県立 福岡高等視覚特別支援学校 教諭 塚本 敏朗 氏	「ヘルスキーパーとしての障がい者就労について」
12.12(金)	特定医療法人財団 博愛会 障害者雇用推進室 室長 介護部門 事務長 呼子 修一 氏	「介護・医療機関における障がい者雇用の実例について」

講師からの話題提供のあと、グループに分かれ意見交流会を行いました。人材の確保や業務の切り出し、障がい理解をどのように深めたらよいかなど、活発に情報・意見交換をしていただきました。23事業所、延べ45人の方にご参加いただきました。

話題提供の感想（一部抜粋）

- ・特別支援学校の実際の様子を動画により視聴でき、学校の現状について理解できた。
- ・ヘルスキーパーという職種を知らなかったので、知識を深めることができた。視覚に障がいがあっても、その能力の高さに驚いた。
- ・医療機関での雇用について、具体的な取り組みや、障がい者雇用に限らず職員の関わり方、想いが伝わり法人としての考え方について参考になった。

意見交流会の感想（一部抜粋）

- ・自法人では気付けない視点や意見を聞くことができ新たな気づきにつながった。
- ・他の企業の方・病院・施設の方の障がい者雇用に関しての悩みや思いや意見が聞けて自分自身の今後の仕事にいかせる時間になった。